

漱石枕流①

◇次の漢文を読んで、後の問いに答えよ。

孫^{そん}子^し荆^{けい}年^{ねん}少^{しやう}時^し、欲^し隱^レ。語^ゴ王^{わう}武^ぶ子^し、^③當^ま枕^シ石^{せき}漱^{くわす}流^{りゅう}、誤^リ曰^{ハク}、「漱^シ石^{せき}枕^し流^{りゅう}」
 王^{わう}曰^{ハク}、「^①A」可^{ベク}枕^ス、^②B」可^キ漱^グ乎^フ。」孫^{そん}曰^{ハク}、「^⑤所以^{すゐ}枕^し流^{りゅう}、欲^し洗^ス其^{その}耳^{みみ}。所^{こゝ}以^ハ漱^グ石^{せき}、欲^ス礪^ミ其^{その}齒^は。」

問1 傍線部①・④の本文中の読みを送り仮名も含めて現代仮名遣い（平仮名）で記せ。

問2 傍線部②「隱」の本文中の意味を分かりやすく説明せよ。

問3 傍線部③を口語訳せよ。

問4 空欄A・Bにあてはまる語を本文中からそれぞれ抜き出して答えよ。

問5 傍線部⑤は、「流れに枕する所以は、其の耳を洗はんと欲すればなり。」と読む。この読みに従って返り点を付けよ。

問6 「漱石枕流」とはどんな意味か。次から適当なものを選び、記号で答えよ。

- ア 目的を遂げるために、長い間苦労する。
- イ 柔軟な態度で、状況の変化にうまく適応する。
- ウ 負け惜しみが強く、ひどいこじつけをする。
- エ 気持ち次第で、何事もなし遂げられる。

問1	①	④
問2		
問3		
問4	A	B
問5	所以枕流、欲洗其耳。	
問6		

問1 ① わかき ④ か(と) (各3―6点)

問2 隠遁する、俗世間から身を退ける。(8点)

問3 当然、「石を枕にして川の流れて口をすすぐ。」と言わなければならない。(10点)

問4 A 流 B 石 (各5―10点)

問5 所以枕流、欲洗其耳。(10点)

問6 ウ (6点)

漱石枕流②

◇次の漢文を読んで、後の問いに答えよ。

孫^{そん}子^し荆^{けい}、年^{わかき}少^{わか}時^{とき}、欲^①レ^シ隠^レ、語^②ニ^ニ王^わ武^ぶ子^こ、当^③ニ^ニ枕^シ流^ニ石^い漱^④流^ニ、誤^リ日^{ハク}、「漱^キ石^ニ枕^{スト}流^レ」
 王^{ハク}曰^{ハク}、「流^{レハ}可^{ベク}枕^ス石^ハ可^キ漱^③乎^ト」孫^{ハク}曰^{ハク}、「所^④以^ハ枕^{スル}流^{レニ}、欲^{ナスレバ}洗^{ハントスレ}其^{ソノ}耳^ヲ。所^④以^ハ漱^グ石^ニ、欲^{ナスレバ}礪^{カント}其^ノ齒^ヲ。」

問1 傍線部①を口語訳せよ。

問2 傍線部②を再読文字に注意して書き下し文にせよ。

問3 傍線部③はどんな意味を表すか、答えよ。

問4 傍線部④を書き下し文にせよ。

問5 この話から、孫子荆はどのような人物だったと思われるか。次から適当なものを二つ選び、記号で答えよ。

- ア 常識にとらわれることなく、自由奔放に生きようとする人物。
- イ プライドが高く、決して自分の負けを認めようとはしない人物。
- ウ 相手を驚かそうとして、奇想天外なことを口にする人物。
- エ 自分の間違いを指摘されていることに気づかない愚鈍な人物。
- オ 頭の回転が早く、相手を丸めこんでしまうほど口の達者な人物。

問6 この話から生まれた「漱石枕流」という言葉の意味を簡潔に説明せよ。

問1	
問2	
問3	
問4	
問5	
問6	

問1 俗世間から身を退けて暮らしたいと考え、 (10点)

問2 当に石に枕し流れに漱がんとすべきに (8点)

問3 疑問 (4点)

問4 石に漱ぐ所以は、其の齒を礪かんと欲すればなり。(と)。(8点)

問5 イ・オ (各5―10点)

問6 負け惜しみが強く、ひどいこじつけをすること。(10点)